



問合せ＝022-786-1231
▽国際基督教大学高等学

多様性の尊重と共生の観点から

提案

多様性の尊重と共生をめざす
教育同盟、その役割とは

中学関東学院は1923（大正12）年9月1日の関東大震災のために立派な校舎が倒壊した。このため1924年3月の第一回卒業式は捜真女学校の講堂を借りて行っ

昔、主イエスの播きたまひし、いと小き「生命のたね」「讃美歌」234番は、生徒を送り、その感化は大きく、多くの人々に慕われた。1977年に、東京学院大学高等学部を併合して、関東学院は中学部と高等学部から構成された。高等学部社会事業部

「いとも小き」第二の源流は東京築地明石町に開設の「東京中神学校」であった。アメリカバプテスト派のA. A. ベンネット（1849-1909）は、1880年、日本人の伝道者の必要性を痛感して、まず4名の若者のために圖書研究クラスを開設、やがて説教学などの科目も教えた。当時すでに他教派が日本人教師で基督教を始めていた。1884年春にバプテストの源流が「模範バプテスト中神学校」であった。アメリカバプテスト派の教育も遅れ、1895年中が、市内でセツルメンタル活動をを行った。関東大震災直後、社会の底辺・周辺に追いやりられた人々に対してアプローチして、キリスト教宣明・研究・学びを具体化しようとした。

しかしこの活動は社会主義運動とみなされ、官憲の弾圧を受け、関わった二つの学部は閉鎖を余儀なされた。

第一次大戦では、横浜空襲により校舎が破壊

プール学院理事長 杉山修一

「多養生の

学院に變更するという合意がなされ、2008年4月に桃山学院が運営する「目の大学」として桃山学院教育大学として新しい歩みを始めたとを述べ、建学の理念を共通にする両学院が相互に支え合うことの意義と組織・規模の連いを超えて「共生」するひとつの形を提示した。

また、土岐教育看護協会代表理事、企業家としての立場から、経営は独立採算と有し一方、教育理念を共にする大学・教育と中学高等学校教育の緊密な連携、運営に関する法人としての意識的決断の明確化、迅速化を目指す学校法人を紹介。他方、国立大学の従来の統合とは異なる、一つの法人が複数の大学を運営するというワンポータル式、企業家の「ホ

支援組織の
校・高等学校
田中榮司

21日は、地区別分科会報告、東北大地震の大学への対応事例を主として、青山学院大学から、そして、横須賀学院の取り組みの報告、学校種別ごとの分科会・全体会での振り返り・閉会礼拝、午後には希望者は横須賀実地巡視を予定しています。なお、規程学長からは、参拝の学校が発表に対し、

桃山学院中学校・高等学校

田中榮司

今年の全国災害支援
総会議は8月20日・21日
に横須賀学院で行いま
す。内容は、20日は、開
会礼拝に続いて、「大規
模地震に備えて教育機
関リスト」をテーマとし

橫濱英和小學校校長 磯貝曉成

橫濱英和小學校校長 磯貝曉成

1. キリスト教学校に勤める教職員の方々に、学校のよって立つところを少なからず理解していたく機会を設けたいと願ひ、教育同盟はさまざまな研修会・研究集会を企画し案内しています。しかし、それぞれの研

2. 近年、中小高校の教員の異動が激しく、教育同盟に登録されている常勤講師や常勤講師を卒期の途中で求める間い合わせが教育同盟で多くなります。このことに対し

3. 今年はいよいよ4面に定着した『教育同盟』の発行が、3面に公算編と報道で、夏期休暇のお守りと良き美しき事務局

つながらぬ教員から、顔の見える関係を日頃から構築してゆくことは、単に災害の時だけではなく相互のキリスト教学校の連携にもつながる確信を持っています。

ぜひ、一中・高大学のみならず、一人でも多くの教職員と横須賀学院でお会いできることを願っています。また、みなさまと、忌憚のない意見交換をしながら、4つの地区会議の構築も視野に入れての取り組みを行っていきましょうと理解(協力)をお願い申し上げます。

8月20日私たちは、今まで参加してきた方々、そして初めて出会う方々、みなさんで顔をのぞかせる関係を広げていくことに願っています。

横須賀学院で会います。

修会・研究集会には各校から教職員を送り出すにあたって、交通費・参加費・宿泊費を滞泊に提供できる学校ばかりではありません。

このことを願って教育同盟では年間300万円の助成制度を設けて研修会・研究集会への参加を促してきました。

定時総会において提案しました「出前研修会制度」は、これまで個人への研修会・研究集会への助成に留められて、その研修会・研究集会をその学校に適した形にして、その学校に出前するという制度です。

①助成金300万円の内50万円を「出前研修会」の実施費用に割り当てる。

②「出前研修会」を学校の教職員研修会として位置づけることさらに勉強する。

この事業は、日本カトリック学校連合会でも協賛力することさらに勉強する。

事務局だより